

京都市では、各施設の運営がどのようになっているかを
市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

南部クリーンセンター環境学習施設 (愛称：さすてな京都) の運営について

当施設は、「京都市環境教育・学習基本指針」に基づく環境教育・
学習の中核施設として令和元年に開設しました。

愛称である「さすてな京都」は、「最先端」「素晴らしい」「展望台」
「南部クリーンセンター」のそれぞれの頭文字と、「持続可能な」という
意味の「サステナブル」を合わせたものです。

<施設の主な取組>

○ 施設見学

ごみ処理施設に併設するという特色を生かし、
大規模な施設を間近で見学でき、焼却処理やエネ
ルギー回収の技術など、最先端の環境技術を学ぶ
ことができます。



○ 環境学習プログラム

ごみ減量、地球温暖化、生物多様性、環境面から
見た地域の歴史等幅広い分野を対象として、体験型
を中心にした子ども向けワークショップや大人向け
学習講座などライフステージに応じた様々な環境学
習プログラムを用意しています。



<令和4年度の運営状況>

○ 利用者数 37,988人

○ 運営（委託）費 71,295千円

○ 施設の運営費は、家庭ごみの有料指定袋制によって得られた
収入によりまかなわれています。

利用者1人当たり
の運営費
1,880円